

♪ 2024年度 **poco a poco** ♪

Nr. 9 2024年8月21日(水) 文責: プファイル・辰巳

2学期のスタート!

楽しく充実した夏休みをお過ごしになられましたか。
いよいよ2学期が始まりますね。8月21日といえば、
日本ではまだ夏休みの学校も多い時期ですが、フランクフルト日本人学校では、長丁場の2学期がスタートします。まずは学校生活のリズムにさっと切り替えて、元気に登校してきてください。修学旅行や学校祭など、大きな行事も控えています。音楽室でも、元気な歌声を響かせてください。



授業準備、OK?

教科書、ファイル、鍵盤ハーモニカやリコーダーなど、授業に必要なものはそろっていますか。最初の時間から、忘れ物のないように準備してくださいね。楽器類は「置き勉」にして、ロッカーに保管しておいてください。

音楽こぼれ話 <学ぶことは・・・音楽事始め>

「学ぶ」という言葉の語源は「真似ぶ、真似る」であるというような説もあるようです。音楽を始めるに当たっても、最初の学びはやはり、「真似る」ことからスタートします。熟練した音楽家や天才的な作曲家ならいざ知らず、一般的にはピアノを習うにしても、新しい歌を覚えるにしても、楽譜を見ただけで即座に演奏できるわけではなく、見本となる演奏を聴き、楽譜通りに、そして見本に似せた形で再現することを繰り返しながら習得していきます。

大学時代に「作曲特論」という科目を受講した時のことです。なんと受講生は私ひ

とりだけ・・・これで、この講座は成立するのかと疑いましたが、講座の先生が「一人でもいいよ。」と仰ってくださって、贅沢にもマンツーマンの講座が半年間続きました。

取り組んだ教材はハイドンのピアノ・ソナチネ1曲だけ。まず、ハイドンがそのソナチネをどのような和声進行の中で作曲したか、小節ごとに和音の分析をするところから始まりました。「ソナチネ」とは「ソナタ」の小型版の器楽曲になりますが、それでも小節数は百小節以上にもなります。毎週30～40小節くらい予習して和音分析しておき、授業の中で検証していきました。

分析が終わり、次に与えられた課題は、ピアノを使って、左手でその和音を弾きながら、ハイドンが作ったメロディとは違うメロディを右手で作っていくという作業です。

最後に、左手の伴奏のリズムや形を工夫して、辰巳作曲「作品その1」が出来上がりました。先生はこの作品を「辰巳のソナチネ・チネ(ソナチネのさらに小型版)」と名付けてくださいました。出来上がった曲は、ハイドン大先生の曲に似ていながら、やはり全く違うものに仕上がりました。(ハイドン先生と大学教授に感謝!)

ベートーヴェンやブラームスなどの大作曲家たちも、このように先人たちの作品と向き合い、真似るところから作曲法を学んでいったそうです。それは一朝一夕で完結するような学びではなく、根気や持久力といったものが要求される学びです。手工業の職人さんたちが、匠の技を長年かけて習得していく道筋と似ています。

昨今は、技術革新に伴い、たくさんの事柄が昔ほど時間を費やさなくても、できるようになりました。J.S.バッハは真夜中にろうそくの灯りを頼りに、たくさんの楽譜を写譜したために、後年目を悪くしました。今ならコピー機が瞬時に印刷してくれます。便利な時代になりました。もしかしたら、作曲も「ベートーヴェン風」とか「モーツァルト風」とか入力すると、似たような交響曲やソナタを作曲してくれるPCが、もうどこかで開発されているかも知れませんね。

しかしながら、学ぶことは真似ることでは終わせないのも、これまた大切なことです。バッハからハイドンやモーツァルトへ、そしてベートーヴェンやシューベルトに、さらにはシューマン、ブラームスへと、ドイツ音楽は受け継がれていきましたが、それぞれの大作曲家たちが、学んだことに「自分らしさ」を加えていったことによって発展してきました。

後世の作曲家やその曲を再現する演奏家にも、この「自分らしさ」が要求されます。日本人学校の児童生徒のみなさんには、まず「真似る力」「学ぶ力」を培い、その上に「自分らしさ」をプラスできる創造力豊かな大人になってもらいたいと思っています。



ちょっとだけ 演奏会情報



「博物館通り祭り」 Museumsuferfest 2024」

フランクフルトの恒例夏祭りの一つ、「博物館通り祭り」は今週末です。23日(金)からスタートし、25日(日)の夜までたくさんのプログラムが用意されています。最終日の22時から、マイン河岸で花火大会も予定されています。

お祭りの間は「Button (バッジ) 7€」を購入する(各博物館の入り口またはツーリストインフォメーションで購入可能)と、3日間を通じて各種博物館に自由に入場できます。(6歳以下は入場無料です。)

また博物館通りの出店を見て歩くのも楽しいですね。博物館内や野外の仮設舞台などで、たくさんの催し物が用意されています。(詳しいプログラムはインターネットで検索してみてください。)

特にこのお祭りの一環として、毎年レーマー広場周辺の教会で行われるリレー式コンサートを順に聴いて歩くのは、大きな楽しみの一つです。土曜日はパイプオルガン、日曜日は合唱のコンサートが予定されています。

各コンサートは30分程度、入場は無料(これらのコンサートはButtonがなくても教会に入ることができます。)上手に移動すれば、毎時ちょうどに始まるコンサートが順々に聴ける仕組みになっています。是非この機会にドイツのパイプオルガンの響きや、石造りの教会の中での合唱の響きをお楽しみください。

8月24日(土曜日) オルガンコンサート (Orgelmeile)

※オルガンコンサートは16時スタート。
※合唱コンサートは15時スタートです。

16時 聖レオンハート教会
「Litanei(連祷)」

17時 ドライケーニツヒ教会
「バッハ それ以外に何が?」

18時 ハイリゲ・ガイスト教会
「教会歌集500周年」

19時 リープフラウエン教会
「ライン・マイン・
ヴルタヴァの流れ」

20時 聖カタリーネン教会
「フランス風のオルガン」

21時 カイザー・ドーム
「2024 記念の年」

8月25日(日曜日) 合唱コンサート (Chormeile)

15時 聖レオンハート教会
Orfeo 合唱団

16時 ドライケーニツヒ教会
Figural 合唱団

17時 ドイツェ・オルデンス教会
SurPraise ヴォーカルアンサンブル

18時 ハイリゲ・ガイスト教会
Ginnheimer 教会合唱団

19時 リープフラウエン教会
St.Jakob 教会合唱団

20時 聖カタリーネン教会
St.Thomas 教会合唱団

21時 カイザー・ドーム
ドーム・ヴォーカルアンサンブル

※ドライケーニツヒ教会とドイツェ・オルデンス教会はザクセンハウゼン側にあります。
その他の教会はすべてハウプトヴァッヘ・レーマー周辺にあります。
詳しくは Museumsuferfest 2024 のサイトを参照してください。

www.museumsuferfest.de/2024